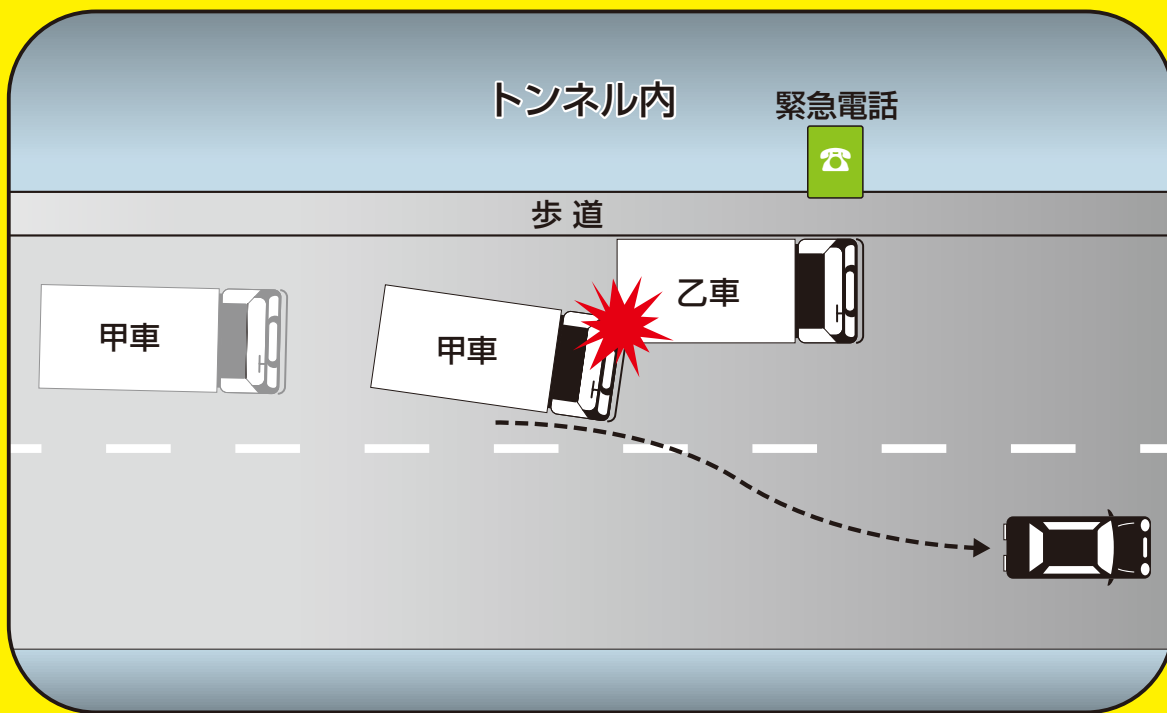


うわ! …何で止まっとん!!

～トンネル内で停止していた車に追突事故～



事故事例ニュース

第259号

四国交通共済協同組合
安全対策部

坂出市番の州公園6番6号
電話0877-44-4416(代)

どのような場所か…

交通閑散なトンネル内の片側2車線の直線道路上（自動車専用道）

どのような事故か…

甲車は、トンネル内の片側2車線の直線道路の走行車線を前車に追従して走行中、前車がエンジントラブルで停止中の乙車を発見してこれを回避しているにもかかわらず乙車の発見が遅れて追突したものの。

原因は……

前方の安全不確認。

この事故を防ぐためには…

1 しっかりと前を見て走りましょう。

- ・高速道路は運転が単調なことから注意力の低下や居眠り運転に陥りやすくなります。

- ・常に緊張感をもって、しっかりと前を見て運転しましょう。(疲れた時は休憩)

2 前車の動静注視と十分な車間距離の保持

- ・前車とは十分な車間距離を保持するとともにその動静を注視し、前車の動きから進路前方の危険を早期に察知しましょう。

《事故防止上の注意点》

①しっかりと前を見て走行していましたか。

高速道路は信号もないことから運転が単調になり、注意力の低下や居眠り運転に陥りやすくなります。高速道路に信号は無くても、渋滞や事故・故障等で停止している車もあります。常に緊張感をもってしっかりと前を見て運転しましょう。

②前車の動静に注意し十分な車間距離を保持しましょう。

前車は停車している乙車を発見してこれを回避しています。前車との十分な車間距離を保持するとともに前車の動静から早期に前方の危険を察知しましょう。

③危険を予測した防衛運転をしていますか。

トンネルの出入り口付近では、外との明さの差により一時的に視力が低下します。トンネルとその出入り口付近は高速道路のなかでも危険が多い場所です。トンネルの危険性を予測して防衛運転に努めましょう。

しっかりと前を見て前車の動きから
早期に危険を察知した運転を!